



CHAPTER 4

Cisco Unified Presence の管理ページでの アプリケーション リスナーの設定

- 「アプリケーション リスナーの設定」 (P.4-1)
- 「アプリケーション リスナーの検索」 (P.4-3)
- 「アプリケーション リスナーの削除」 (P.4-4)

アプリケーション リスナーの設定

SIP プロキシ サーバ、プレゼンス エンジン、およびプロファイル エージェント用にアプリケーション リスナーを設定できます。各アプリケーション リスナーは、特定のアドレスとポートの組み合わせにバインドされます。TLS プロトコルを選択する場合、TLS コンテキストも選択する必要があります。

手順

ステップ 1 次のいずれかの操作を実行します。

操作の目的	操作
アプリケーション リスナーを追加する	<ol style="list-style-type: none">[システム (System)] > [アプリケーション リスナー (Application Listeners)] の順に選択します。[新規追加 (Add New)] をクリックします。
アプリケーション リスナーを更新する	<ol style="list-style-type: none">「アプリケーション リスナーの検索」 (P.4-3) の説明に従ってレコードを検索します。必要に応じてレコードを編集します。

ステップ 2 表 4-1 の説明に従ってアプリケーション リスナーの設定値を入力します。

表 4-1 アプリケーション リスナーの設定値

フィールド	説明
リスナー タイプ (Listener Type)	アプリケーション リスナーのタイプを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • SIP • HTTP • HTTPS
名前 (Name)	該当するリスナーに一意の名前を指定します。 最大文字数：128
ポート (Port)	該当するリスナー用に設定されたポートの番号を指定します。 デフォルト ポート：5060
サービス タイプ (Service Type)	該当するアプリケーション リスナーの [サービス タイプ (Service Type)] を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Proxy Server • Cisco Presence Engine • Cisco Unified Client Profile Agent デフォルト設定：Cisco Proxy Server
転送タイプ (Transport Type)	該当するリスナーが使用するプロトコルのタイプ (TCP、UDP、または TLS) を指定します。 デフォルト設定：UDP
TLS コンテキスト (TLS Context)	該当するリスナーに関連付けられた TLS コンテキストを指定します。 このフィールドが適用されるのは、プロトコルタイプとして TLS を選択した場合だけです。 (注) 使用可能な TLS コンテキストは、[TLS コンテキスト設定 (TLS Context Configuration)] ウィンドウで設定します。

ステップ 3 データを保存するには、次のいずれかの操作を実行します。

- a. ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [保存 (Save)] アイコンをクリックします。
- b. ウィンドウの下部にある [保存 (Save)] をクリックします。

トラブルシューティングのヒント

- アプリケーション リスナーに加えた変更を有効にするには、SIP プロキシ サーバを再起動する必要があります。このプロキシ サーバを再起動するには、[プレゼンス (Presence)] > [ルーティング (Routing)] > [設定 (Settings)] の順に選択します。
- Cisco Proxy Server では、リスナーの数は 20 に制限されています。

関連項目

- 「Cisco Unified Presence の管理ページでの SIP プロキシ サーバの設定」 (P.16-1)
- 『Port Usage Information for Cisco Unified Presence』

アプリケーション リスナーの検索

ネットワークにアプリケーション リスナーが複数存在する場合があるため、Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定のアプリケーション リスナーを検索できます。

手順

- ステップ 1** [システム (System)] > [アプリケーション リスナー (Application Listeners)] の順に選択します。
- ステップ 2** データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、**ステップ 4** に進みます。
- ステップ 3** レコードをフィルタリングまたは検索するには、次のいずれかの操作を実行します。
- 最初のリスト ボックスから検索パラメータを選択します。
 - 2 番目のリスト ボックスから検索パターンを選択します。
 - 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。
- ステップ 4** [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 5** 表示されるレコードのリストから、次の 1 つまたは複数の操作を実行します。

操作の目的	操作
レコードを表示する	該当するレコードのリンクをクリックします。
レコード リストのソート順序を逆にする	リストのヘッダーにある上向き矢印または下向き矢印をクリックします。

関連項目

[「Web ブラウザ セッション」 \(P.1-7\)](#)

アプリケーション リスナーの削除

手順

- ステップ 1** アプリケーション リスナーを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除するアプリケーション リスナーを選択します。
- ステップ 3** アプリケーション リスナーを削除するには、次のいずれかの操作を実行します。

操作の目的	操作
選択したレコードを削除する	<p>a. 該当するレコードをオンにします。</p> <p>b. 次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ウィンドウの下部にある [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。 • ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [選択項目の削除 (Delete Selected)] アイコンをクリックします。
すべてのレコードを削除する	<p>a. [すべてを選択 (Select All)] をオンにします。</p> <p>b. [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。</p>

トラブルシューティングのヒント

- アプリケーション リスナーが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。使用中の場合は、メッセージが表示されます。
- アプリケーション リスナーに加えた変更を有効にするには、SIP プロキシ サーバを再起動する必要があります。このプロキシ サーバを再起動するには、[プレゼンス (Presence)] > [ルーティング (Routing)] > [設定 (Settings)] の順に選択します。

関連項目

- 「[アプリケーション リスナーの検索](#)」 (P.4-3)
- 「[Cisco Unified Presence の管理ページでの SIP プロキシ サーバの設定](#)」 (P.16-1)